

プレスリリース

2016年7月21日

クレディ・スイス、日本における投資銀行および株式資本市場業務の強化に向け、シニア・バンカーを新たに2名採用

東京 2016年7月21日 - クレディ・スイスは、クレディ・スイス証券株式会社のマネージング・ディレクター兼事業法人部長に矢野雄彦が、同ディレクター兼資本市場部長に島田雅人が就任したことを発表しました。両名を迎え、クレディ・スイスは今後、日本における投資銀行および資本市場業務の一層の強化を図ります。

矢野は投資銀行業務を中心にテクノロジー・メディア・通信(TMT)業界において25年以上の経験を有しており、今後、クレディ・スイスのアジア太平洋地域のTMT担当と密接に連携しながら、テクノロジー・メディア・通信業界およびインダストリアルセクターの顧客を担当します。クレディ・スイス入社前は、ドイツ証券株式会社にマネージング・ディレクター兼投資銀行統括部共同責任者やTMTグループの統括責任者を務めていました。矢野はこれまで日立製作所による伊アンサルドSTSの買収、ソフトバンクの米ドル建ておよびユーロ建て債の発行、ジャパン・ディスプレイのグローバルIPO等、数々の案件を手掛けてきました。

一方、島田は投資銀行業界で12年以上の経験を有しており、資金調達手段としてエクイティ資本に対する注目度が高まる中、今後、クレディ・スイスの資本市場部長として、国内における資本市場フランチャイズの拡大に注力します。直近ではドイツ証券でエクイティ・キャピタル・マーケット部門の統括責任者を務めており、これまでジャパン・ディスプレイのグローバルIPOやサイバーダイン等、注目度の高いさまざまな案件に携わってきました。

クレディ・スイスはアジア太平洋地域への大規模な投資を続けており、今後、この地域でのインベストメント・バンキング・フランチャイズをより一層拡大するうえで、日本は極めて重要な役割を担うこととなります。

クレディ・スイス証券株式会社の代表取締役社長兼CEOであるマーティン・キーブルは、「クレディ・スイスは長年に渡り日本で事業を展開し、投資銀行および資本市場業務を強化し続けています。経験豊富な2人の新たな人材に大いに手腕を発揮してもらうことで、当社の投資銀行および資本市場事業部門は今後さらに勢いを増し、強力な体制を確立していきます」と述べています。

またクレディ・スイス証券株式会社投資銀行本部長の伊藤宏一は、「今回の両名の就任は、日本での投資銀行業務および資本市場業務に対する当社の強いコミットメントを示すものです」と述べています。

クレディ・スイスは、日本の顧客向けに数多くの画期的で革新的な案件に携わっています。クロスボーダーのM&A案件も多数手掛けており、2016年3月にはNTTデータによる総額30億米ドルでのDellのITサービス事業の買収、アライアンス・タイヤ・グループの12億米ドルでの横浜ゴムへの売却の両案件のFAを務めました。2015年に東京海上がHCCインシュアランスを75億米ドルで買収した際にもFAを務め、この案件はファイナンス・アジア誌によって2015年の「Best FIG Deal」に選ばれました。また2016年には、ユーロマネー誌によって、日本国内におけるNo.1プライベート・バンキング・サービスプロバイダーに選定されています。

クレディ・スイスは、日本においてもインベストメント・バンキングとプライベート・バンキング & ウェルス・マネジメントの幅広いサービスを提供しています。クレディ・スイスは、日本に最も早期に進出した外国金融機関の 1 社であり、長年にわたり日本で事業を展開しています。

本件に関するお問い合わせ先

クレアブ株式会社 電話: 03-5404-0640

クレディ・スイスについて

クレディ・スイスは、世界有数の金融機関として、プライベート・バンキング、インベストメント・バンキング、アセット・マネジメント事業を世界中で展開しています。アドバイザー・サービス、包括的なソリューション、革新的な商品を、世界中の法人および富裕層個人顧客、またスイス国内の一般個人顧客に提供しています。クレディ・スイスは、世界 50 ヶ国以上に拠点を持ち、約 47,760 人の従業員を有しています。クレディ・スイスの本拠地はチューリッヒで、世界各地にある複数の事業法人で構成されています。親会社クレディ・スイス・グループ AG の株式 (CSGN) はスイスおよび米国預託証券 (CS) としてニューヨークで上場しています。日本語サイトは、<https://www.credit-suisse.com/jp/aboutus/ja/index.jsp>、グローバルサイトは、www.credit-suisse.com。